廃棄物に係る意識等についてのアンケート

実態調査と併せて、本アンケートへの

ご協力をお願いいたします。

調査票番号　　　　　　　　　　　　　 事業所名

↑お手数ですが、調査票に記載されている調査票番号を転記してください

**問１．産業廃棄物の発生抑制やリサイクルに向けた取り組み等について**

貴事業所では産業廃棄物の発生抑制やリサイクルに向けた取り組みを行っていますか。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．行っている（[ ] ）２．行っていない（問２にお進みください） |

|  |
| --- |
| 　貴事業所で行っている取り組みについて該当する項目を選び✔をつけてください。（複数選択可）（[ ] ）１．再生品、再生資源（原料）の利用の推進（[ ] ）２．包装材・梱包材の使用量の削減（[ ] ）３．廃棄物の分別・選別の徹底によるリサイクル等の推進（[ ] ）４．リサイクル可能な処理先へ委託（[ ] ）５．発生する不要物の有償売却の促進（[ ] ）６．規格材の使用など廃材発生の少ない資材の採用（[ ] ）７．ユニット工法など廃材発生の少ない工法の採用（[ ] ）８．再生資材の工事利用の促進（[ ] ）９．工程内で発生した不要物の有効利用の促進（[ ] ）10．廃棄物の発生抑制のための製造工程の改善（[ ] ）11．リサイクルの容易化、処理の容易化、製品の長寿命化等を考慮した製品の開発（[ ] ）12．産業廃棄物排出削減目標の設定や社員教育等の実施による環境意識の向上の推進（[ ] ）13．その他　具体的に： |

**問２．産業廃棄物処理業者の選定について**

産業廃棄物処理業者の選定にあたってどのような点を重視していますか。

重視している項目を３つまで選び✔をつけてください。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．優良産廃処理業者の認定を受けているか（[ ] ）２．電子マニフェストに対応しているか（[ ] ）３．会社情報（法人の事業内容、規模、財務状況等）（[ ] ）４．再生利用を行っているか（[ ] ）５．廃棄物による発電・熱回収を行っているか（[ ] ）６．環境に配慮した経営を行っているか（ISO14001の取得状況等）（[ ] ）７．処理料金（[ ] ）８．その他　具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**問３．電子マニフェストの利用状況について**

貴事業所では電子マニフェストを利用していますか。該当する項目を１つ選び✔をつけてください。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．利用している（問４にお進みください）（[ ] ）２．利用を予定している又は検討している（問４にお進みください）（[ ] ）３．利用していない |

|  |
| --- |
| 　利用していない理由について該当する項目を選び✔をつけてください。（複数選択可）（[ ] ）１．利用開始の手続きが難しいと感じる（[ ] ）２．操作方法が難しいと感じる（[ ] ）３. 電子マニフェストを操作する人員を確保することが難しい（[ ] ）４．電子マニフェストを知らなかった（[ ] ）５．加入するメリットを感じない（[ ] ）６．委託先の処理業者が利用していない（[ ] ）７．その他　具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**問４．SDGs（エスディージーズ）について**

「SDGs（エスディージーズ）」※を知っていますか。該当する項目を１つ選び✔をつけてください。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．知っている（[ ] ）２．知らない（問５にお進みください） |

|  |
| --- |
| 　SDGsの達成に向けた取り組み状況について該当する項目を１つ選び✔をつけてください（[ ] ）１．SDGsの達成に向けて取り組んでいる（[ ] ）２．SDGsの達成に向けた取り組みはしていないが、今後行う予定である（[ ] ）３．SDGsの達成に向けた取り組みは実施していない（問５にお進みください） |

|  |
| --- |
| 　上記設問で「１」又は「２」を選択した方は、取り組んでいる（予定している）内容を記入してください。（例）「SDGsの目標12：持続可能な生産消費形態を確保する」の達成に向けて、リサイクルがしやすい商品の開発を行っている。  |

※SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）

世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットです。貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなど、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

**問５．脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて**

気候変動による悪影響のリスクを低減し、持続可能な社会を実現するためには、2050年時点で脱炭素社会（二酸化炭素や温室効果ガスの排出量を削減し実質ゼロとする社会）を実現することが必要であると言われています。脱炭素社会の実現に向けた取り組みについてご回答ください。

**①****脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて**

貴事業所において脱炭素社会の実現に向けた取り組みをしていますか。該当する項目を１つ選び✔をつけてください。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．脱炭素社会の実現に向けた取り組みをしている（[ ] ）２．脱炭素社会の実現に向けた取り組みはしていないが、今後行う予定である（[ ] ）３．脱炭素社会の実現に向けた取り組みは行っていない（②にお進みください） |

|  |
| --- |
| 　上記設問で「１」又は「２」を選択した方は、取り組んでいる（予定している）内容を記入してください。（例）化石資源由来のプラスチックから、バイオプラスチックへの代替を進めている。 |

**②　脱炭素社会の実現に向けた支援について**

川崎市では、CO2排出実質ゼロや使用電力の再生可能エネルギー100％への転換を目指し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。脱炭素社会の実現へ向けて、市はどのような支援を行うべきだと思いますか。（複数選択可）

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．脱炭素化の推進に寄与する設備導入のための補助金の拡充（[ ] ）２．脱炭素化の推進に寄与する情報の提供（[ ] ）３．脱炭素化を推進する事業計画を策定するための支援（[ ] ）４．その他　具体的に：　　  |

**問６．災害対策について**

大規模災害の発生時には、事業所自体が被災する可能性がありますが、貴事業所では、大規模災害で事業所に損害が発生した際のBCP（事業継続計画）を作成していますか。また、災害廃棄物に対するリスク管理（危険物の流出防止措置等）に関する定めを設けていますか。該当する項目を１つ選び✔をつけてください。

※BCPとは、企業などの組織が災害等の緊急事態において、事業の早期復旧・継続を可能とするための

計画です。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．BCPを作成しており、災害廃棄物に対するリスク管理についても定めている（[ ] ）２．BCPを作成しているが、災害廃棄物に対するリスク管理は定めていない（[ ] ）３．BCPを作成していないが、災害廃棄物に対するリスク管理は定めている（[ ] ）４．BCPは作成しておらず、災害廃棄物に対するリスク管理についても定めていない（[ ] ）５．その他　具体的に:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**問７．市の産業廃棄物施策について**

川崎市では、循環型社会形成のため、様々な施策に取り組んでいます。今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。力を入れるべきだと思う項目を３つまで選び✔をつけてください。

|  |
| --- |
| （[ ] ）１．排出者責任の徹底を図るための、監視・指導体制の一層の強化（[ ] ）２．不適正処理、不法投棄に対する、監視・指導体制の一層の強化（[ ] ）３．処理業者に関する、評価や行政処分等の情報公開（[ ] ）４．廃棄物の減量及びリサイクル技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充（[ ] ）５．排出事業者に対する適正処理・リサイクルに関する、講習会や研修会の拡充（[ ] ）６．産業廃棄物に対する市民の理解と知識を深めるための啓発活動（[ ] ）７．優良な廃棄物処理業者への支援と育成（[ ] ）８．その他　具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**アンケートは以上となります。ご協力いただきありがとうございました。**